学校番号	１２０１

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	第１学年	教科書：COMET　English Communicaton I 副教材： ①COMET コメット英単語（数研出版） ②COMET コメット英単語学習ノート①、② ③Willing 基本の英語

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語コミュニケーションⅠの授業は、「聞くこと」「話すこと（やり取り、発表）」、「読むこと」、「書くこと」という４技能領域の力をつける授業です。聞いたり読んだりしたことをもとに、与えられた情報や考えなどについて話したり、書いたりする言語活動を多く行います。
・英語の語彙や文法については、覚えるだけではなく、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習しましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	ゆっくりはっきりと発音されれば、身近な単語や句を正確に聞き取ることができる。アルファベットが発音されるのを聞いて、どの文字か聞き取ることができる。	挿絵や写真のある簡単な１～３文程度の情景描写を理解でき、バースデーカードなどのメッセージの内容を読み取ることができる。音で知っている単語を、書かれてある単語の中から見つけ出すことができる。	決まった日常の挨拶や季節の挨拶のやりとりをすることができる。	母語話者にも理解してもらえるように英単語を適切に発音し発表することができる。	基本的な語句や表現、文法事項などの知識を活用して簡単な英文（１文）を書くことができる。自分についての基本的な情報（名前、誕生日、年齢など）を書くことができる。

３ 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じ適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 ・	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Lesson1 “From the Window of Shinkansen”	聞くこと	a：英語の音声を聞いて、読まれた語句を適切に選べ、さらに語句の意味を答えることができる。 b：英語の音声を聞いて、読まれた語句を適切に選べる。 c：英語の音声を聞いて、読まれた語句を適切に選ぼうとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a. 動詞の過去形に関する事項を理解している。 b. 動詞の過去形の用法に関する理解をもとに，ジョーンズ先生の新幹線の旅の経験について書かれた文章を読み取る能力を身につけている。 c. 電車に乗る頻度や電車内での過ごし方について，学習した語彙や言語材料，TOOL BOX の語句を用いて伝えたり，相手からの質問に答える技能を身につけている。	a, b：定期考査 c：ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題
		話すこと （やりとり）	a. 過去形を用いて短い英文を書き，自分の気持ちや考えを伝えている。 b. 思い出に残る経験についての発表とその後のやりとりを聞き，必要な情報や概要・要点を捉えている。	スピーキングテスト
		書くこと	a：自分のことや経験を紹介するために必要な書く技能を身に付けている。 b：自分のことや経験について簡単な語句や文を用いて書いている。 c：自分のことや経験について簡単な語句や文を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	a, b：定期考査 c：ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題
	中間考査			
	Lesson2 “Miniature Art: The	聞くこと	a：英語の音声を聞いて、読まれた語句を適切に選べ、さらに語句の意味を答えることができる。	リスニングテスト

	World of Tanaka Tatsuya”		b: 英語の音声を聞いて、読まれた語句を適切に選べる。 c: 英語の音声を聞いて、読まれた語句を適切に選ぼうとしている。	
		読むこと	a. 進行形に関する事項を理解している。 b. 進行形の用法に関する理解をもとに，田中さんの作品紹介と作品作りに対する姿勢について書かれた文章を読み取る能力を身につけている。 c. 芸術への関心や自らの楽しみなどについて，学習した語彙や言語材料，TOOL BOX の語句を用いて伝えたり，相手からの質問に答える技能を身につけている。	a, b：定期考査 c：ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題
		話すこと（発表）	a. 田中さんの作品や作品作りに対する姿勢について理解を深めるために，本文の内容を読み取り，概要や要点を把握している。 b. 本文の内容に関連して，芸術への関心や自らの楽しみなどについて，学習した語彙や言語材料，TOOL BOX の語句を用いて，自分の意見を話したりしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a. 進行形の用法を理解している。 b. 進行形を用いて，正しい英文を書いて伝える技能を身につけている。 c. 自分の趣味についての発表とその後のやりとりを聞き，その内容を表現する技能を身につけている。	a, b：定期考査 c：ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題
	期末考査			
2	Lesson3 “Onigiri Goes Overseas”	聞くこと	a: 英語の音声を聞いて、読まれた語句を適切に選べ、さらに語句の意味を答えることができる。 b: 英語の音声を聞いて、読まれた語句を適切に選べる。 c: 英語の音声を聞いて、読まれた語句を適切に選ぼうとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 日本文化を表す語句などの意味や働きを理解している。 b: 日本のおにぎりに関する英語で書かれた新聞記事を読んで概要を捉えている。 c: 日本のおにぎりに関する英語で書かれた新聞記事を読んで概要を捉えようとしている。	a, b：定期考査 c：ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題
		話すこと（発表）	a: 日本文化を表す語句などの意味や働きを理解している。 b: 日本食文化について、基本的な語句や文を用いて話している。 c: 日本食文化について、基本的な語句や文を用いて主体的に話そうとしている。	スピーキングテスト

		書くこと	a:日本文化を紹介するために必要な書く技能を身に付けている。 b: 日本文化について簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 日本文化について簡単な語句や文を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	a, b:定期考査 c:ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題
	中間考査			
	Lesson4 “Pictograms”	聞くこと	a: 英語の音声を聞いて、読まれた語句を適切に選べ、さらに語句の意味を答えることができる。 b: 英語の音声を聞いて、読まれた語句を適切に選べる。 c: 英語の音声を聞いて、読まれた語句を適切に選ぼうとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a:身の回りにあるピクトグラムを表す語句などの意味や働きを理解している。 b: :身の回りにあるピクトグラムに関する英語で書かれたスピーチ原稿を読んで概要を捉えている。 c: :身の回りにあるピクトグラムに関する英語で書かれたスピーチ原稿を読んで概要を捉えようとしている。	a, b:定期考査 c:ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題
		話すこと （やりとり）	a: 身の回りにあるピクトグラムを表す語句などの意味や働きを理解している。 b: 身の回りにあるピクトグラムについて、基本的な語句や文を用いて話している。 c: 身の回りにあるピクトグラムについて、基本的な語句や文を用いて主体的に話そうとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 身の回りにあるピクトグラムを紹介するために必要な書く技能を身に付けている。 b: 身の回りにあるピクトグラムについて簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 身の回りにあるピクトグラムについて簡単な語句や文を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	a, b:定期考査 c:ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題
	期末考査			
3	Lesson5 “Morita Yuko”	聞くこと	a: 英語の音声を聞いて、読まれた語句を適切に選べ、さらに語句の意味を答えることができる。 b: 英語の音声を聞いて、読まれた語句を適切に選べる。 c: 英語の音声を聞いて、読まれた語句を適切に選ぼうとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a:ファシリティドックとハンドラーを表す語句などの意味や働きを理解している。 b: : ファシリティドックとハンドラーに関する英語で書かれたスピーチ原稿を読んで概要を捉えている。 c: : ファシリティドックとハンドラーに関する英語で書かれたスピーチ原稿を読んで概要を捉えようとしている。	a, b:定期考査 c:ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題
		話すこと （やりとり）	a: ファシリティドックとハンドラーを表す語句などの意味や働きを理解している。 b: ファシリティドックとハンドラーについて、基本的な語句や文を用いて話している。	スピーキングテスト

			c: ファシリティドックとハンドラーについて、基本的な語句や文を用いて主体的に話そうとしている。	
		書くこと	a: ファシリティドックとハンドラーを紹介するために必要な書く技能を身に付けている。 b: ファシリティドックとハンドラーについて簡単な語句や文を用いて書いている。 c: ファシリティドックとハンドラーについて簡単な語句や文を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	a, b:定期考査 c:ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度